山梨県社会教育委員の会議　提言書【概要版】

詳しくは、『山梨県公式ホームページ」提言書　http://cms.pref.yamanashi.jp/cms8341/documents/4970/r8teigensyo.pdf　でチェック！

つながりで築く地域コミュニティ

～学びを通じた自己実現と協働によるウェルビーイングな社会づくり～

基本的な考え方：人づくり（提言１）・つながりづくり（提言２）・場づくり（提言３）

提言１
多様な人材発掘・育成

・地域の多様な人材の発掘と育成
・社会教育を担う専門性を持つ人材の育成
・主体的な学びの循環を生み出す地域づくり

提言２
多様な連携のコーディネート

・コーディネート業務の分担による継続性と負担軽減
・専門性を持つ人材による学びと活動の質の向上
・情報発信による人材発掘とネットワーク形成の促進

提言３
多様な人々が生きる力を育む場

・地域資源を生かした学びの充実
・学びを支えるコーディネート機能と人材の育成
・誰もが学びあい、支えあえる地域づくり

ウェルビーイングな社会の実現

各社会教育関係者に求められる方策

教育行政に従事する皆さんへ	社会教育委員・社会教育主事の皆さんへ	公民館・青少年教育施設の関係者の皆さんへ	学校教育の関係者の皆さんへ	社会教育関係団体・NPO・企業の関係者の皆さんへ
→ ①研修機会の見直し ②コーディネーターの安定した身分保証	→ 地域学校協働活動に対する理解の深化	→ 多世代が学ぶ場の創出を検討・実施	→ コミュニティ・スクールによる学校づくり・地域づくりの実質化	→ 学校のニーズや教育目標を共有した活動への参画や独自企画の運営

人づくり

提言1：多様な人材発掘・育成

事例①

中央市の中学校を核とした地域協働防災訓練

地域の人々が互いに見える関係で学び合い、助け合うコミュニティを創ることを目的に、地区別協働防災訓練を実施しています。

小中学生から高齢者まで誰もが参加できるプログラムを計画し、児童生徒が地域へ出向き、提供しています。また、学校における防災教育研修会には、自治会長、自主防災会長、保護者も参加しています。

事例②

都留市のコーディネーターと地域の共育

都留市では、学校・家庭・地域が目標や願いを共有しながら、「地域とともにある学校づくり」と「学校を核とした地域づくり」を進めています。地域・教育コーディネーターは、学校と地域、地域と地域の人材・資源をつなぎ、対話と協働を支える役割を担っています。

コーディネーターの専門性は、講習と実践を往還しながら育まれ、地域住民がファシリテーターとして育つよう働きかけています。

つながりづくり

提言2：多様な連携のコーディネート

事例③

コーディネーターによる市民協働の推進

南アルプス市では、市民活動を支援する拠点として「南アルプス市市民活動センター」を設置、市民活動の実績やノウハウを持つ専門人材を「市民活動コーディネーター」として配置しています。

市民活動や事業者に関する情報発信を行い、取組への助言や支援、多様な主体間のネットワークづくりなどを行っています。

事例④

多様な主体の役割分担による対話の場の実現

甲州市社会教育委員の会では、塩山高等学校との連携により、SDGsをテーマにした新たな学びの場となる「高校生と大人の本音の語らいの場」を行っています。

専門家がファシリテーションを行うことにより、参加者同士の対話が活性化しています。各セクターの担当者及び専門家が役割を分担し、連携する仕組みが構築されています。

場づくり

提言3：多様な人々が生きる力を育む場

事例⑤

甲府市立遊亀公園附属動物園における社会教育実践

地域に開かれた身近な動物園として、展示や解説に加え、体験活動や市民参加型の取組を通じて社会教育の役割を担っています。こどもから高齢者まで幅広い世代が訪れ、動物との関わりを通して学べる場となっています。

市民ボランティアを支える体制づくりを進め、動物と人の双方が安全で安心できる環境整備に努めています。

事例⑥

高校生発案の居場所づくり「くるぐる」

中高生が安心して集い、交流できる居場所として地元高校生有志が中心となって立ち上げた活動です。地域住民や支援者の協力を得ながら運営されており、放課後の自習や進路相談、交流の場として利用されているほか、若者同士や地域とのつながりを育む場となっています。

また、商店街の空き店舗を活用することで、地域資源の有効活用や地域交流にもつながっています。